



創立148周年

12月号(令和3年11月30日発行)

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

できることをできる限り

校長 森 愛子

11月20日、無事、土曜参観(収穫祭)・学校運営協議会・PTA お楽しみ会を終えました。新しい体育館に全校児童が集い、5年生がニュース番組形式でまとめた稲作についての発表を聞き、全校での活動を振り返り、今年は210kgの収穫があったことを共に喜ぶことができました。5年生から4年生に「粃送り」をした際には、4年生全体が今度は自分たちの番だとやや緊張した気配が伝わってきました。その後、4・5・6年生は学校運営協議会の方を中心とした地域の方々にご指導いただきながらの竹とんぼ作り、4時間目は授業参観と忙しい1日でしたが、お家の方に自分の頑張っている姿を見てもらうことは子ども達にとって大変嬉しく意欲につながるのだと実感しました。

給食では、鉄の新米の美味しさを堪能し、午後はPTA お楽しみ会で、役員の皆様が趣向を凝らした大変楽しいビンゴ大会で盛り上がり、晩秋の1日を満喫しました。

6年生の修学旅行を始めとして、行事が実施できるようになり、嬉しくも慌ただしい日々が続いていますが、コロナ禍においても「学びを止めない」という横浜市の方針通りに本校もできることをできる限り続けて来たからこそその今だと思っています。校内での参観の機会が無く、廊下の絵や作文等の掲示物をご覧になるのも初めてという方もいらっしゃると思いますが、子ども達は学校でこんなふうに学びを積み重ね、力を付けているということを知っていただけて良かったです。

来年2月には4年生が「10歳を祝う会」、3月には6年生が「卒業を祝う会」として、保護者の方々に観てもらおう場を予定しています。例年合同開催していた2月の地域防災訓練が今年度は中止と決定しましたので、本校の土曜参観も中止となりますが、平日の授業参観は実施します。新たな変異株の感染拡大の状況を見極めつつ、できる限り早めに参観者の人数制限の有無等を発信します。これまで同様、子どもたちが楽しいと思える活動をできるだけ伸び伸びと楽しめるような環境を整える視点、参観していただけることがモチベーションアップにもつながるという視点、双方のバランスを考えながら計画していくつもりです。閉塞感が子ども達に影響を及ぼさないよう、私達大人が情報に翻弄されることなく、子ども達の学びを継続していきたいと考えております。